

FIVB ビーチバレーボールワールドツアー2019 東京大会 取材規定

報道関係の皆様には支障なくご取材いただくために、下記の要領にて取材・報道体制を整えています。ご一読いただき、ご協力たまわりますようお願い申し上げます。なお、取材はスポーツ報道を対象としております。スポーツ報道以外の目的での取材はお断りいたします。

会場内での取材活動については、現場での連絡事項ならびに下記の要項に著しく逸脱した場合、取材をお断りする場合がございますので、ご承知おきください。

■取材者

- * スポーツ報道としての取材を目的とした方
- * 取材申請の際に掲載予定媒体の責任者の了解を得た方
- * FIVB が取材者として適当と認めた方

■アクセディテーション

- * 上記に該当し、取材申請を受諾された方は、大会会場への入場を許可します。
- * 入場を許可した方に対して、プレスアクセディテーションカード(以下 AD カード)を発行します。
- * 大会会場内においては、AD カードとビブスの着用が義務付けられます。
- * 会場の取材スペースに限りがあるため、取材申請の件数によりましては入場制限をさせていただく場合がございます。(例:各日、1社につき記者1名・カメラ1名まで等)
- * 取材規定に反した取材者、AD カードの貸与・譲渡など不適切な使用を行った取材者、その他、主催者が不適切と判断した取材者に対して、AD カードを没収の上、今後、国際バレーボール連盟、日本バレーボール協会主催・主管・後援大会への取材をお断りする場合があります。

■アクセスエリア

記者	プレスワーキングルーム、インタビュールーム、ミックスゾーン、会場内記者席
スチールカメラ	プレスワーキングルーム、インタビュールーム、会場内スチールエリア
ENG カメラ	プレスワーキングルーム、インタビュールーム、ミックスゾーン、会場内 ENG エリア

- * プレスワーキングルーム: 本大会の会場にはプレスワーキングルームが設置されています。プレスワーキングルームではインターネットに回線と電源が用意されています。プレスワーキングルームは原則として、第1試合開始1時間前～最終試合終了1時間後までご利用いただけます。
- * 会場内スチールエリア: 本大会の取材申請受諾を得たスチールカメラは、指定のスチールエリアからの撮影が認められています
- * 会場内 ENG エリア: 本大会では、ライセンスホルダー、ノンライセンスホルダーともに ENG エリアに入っの撮影が可能です。ENG エリア内に持ち込める ENG カメラは、1社につき1台のみです
- * 会場内記者席: 本大会の取材申請受諾を得た記者は会場内記者席からの取材が可能です。原則として、記者以外の方の着席が禁止されております

*ミックスゾーン： マッチコートと選手控室の間に設置されるミックスゾーンでは試合終了後 15 分間、選手に取材することが可能です

■写真、映像など撮影素材について 使用期間

- * 本大会で撮影された写真、映像などを事前に申請された媒体以外で許可なく使用することを禁止しております。後日、別途使用を希望される場合は再申請の必要があります。許可なく写真や映像を使用した場合、今後の取材をご遠慮いただくことがあります
- * 競技の動画撮影は、放送のカテゴリーのみ認められています。紙媒体やウェブ媒体の申請者が、競技の動画を撮影したり、配信したりすることは禁止します。
- * 本大会で撮影された写真を雑誌や WEB サイトに掲載する際には、必ず撮影者の氏名を明記してください。本大会で撮影された写真を掲載された雑誌は必ず、下記までご提出をお願いします

【あて先】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-30-8 ダヴィンチ千駄ヶ谷内
公益財団法人日本バレーボール協会 広報部

■プレスアクレディテーションカード(ADカード)の発行および会場受付について

- * AD カードはプレス受付にて、当日配布・回収とさせていただきます。紛失した場合、再発行はいたしませんのでご注意ください
- * ADカードなしでは、会場に入場できません。AD カードは、プレス受付にてお渡しいたします。取材者数把握のため、お手数ですがプレス受付には毎回お立ち寄りください
- * ビブスはプレス受付にて、当日配布・回収とさせていただきます。紛失した場合、再発行はいたしません。実費をいただくこともありますのでご了承ください。

※本取材規定は、プレスの方(ペン記者・フォトグラファー・ノンライツ)を対象としております。ホストブロードキャスターとライツホルダーの方は該当しません